

登園届 (保護者記入用)

桜川保育園 園長 西山 和代 殿

園児名 _____ (クラス _____)

(病名) (該当疾患に をお願いします)

<input type="checkbox"/>	溶連菌感染症
<input type="checkbox"/>	マイコプラズマ肺炎
<input type="checkbox"/>	手足口病
<input type="checkbox"/>	伝染性紅斑 (りんご病)
<input type="checkbox"/>	ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)
<input type="checkbox"/>	ヘルパンギーナ
<input type="checkbox"/>	RSウイルス感染症
<input type="checkbox"/>	帯状疱疹
<input type="checkbox"/>	突発性発疹
<input type="checkbox"/>	ヒトメタニューモウイルス
<input type="checkbox"/>	その他 (_____)

※原因不明の発熱、咳、下痢嘔吐、発疹などの症状がある時は医師の診察を受けてください

(医療機関名) _____ (医療機関連絡先: _____)

(_____ 年 _____ 月 _____ 日受診) において、病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので _____ 年 _____ 月 _____ 日より登園いたします。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者名 _____ ⑩

※保護者の皆さまへ

保育所は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、上記の感染症については登園のめやすを参考に、かかりつけ医の診断に従い、登園届の記入及び提出をお願いいたします。

登園の目安は、子どもの全身状態が良好であることが基準となります

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1～2 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること
伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の 1 週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎 （ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後 1 週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普通の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に 1 か月程度ウイルスを排出しているため注意が必要）	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普通の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸症状のある間	呼吸症状が消失し全身状態が良いこと
帯状疱疹	水泡が形成している間	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化していること
突発性発しん	—	解熱し機嫌が良く全身状態がよいこと
ヒトメタニューモウイルス	呼吸器症状のあるとき 潜伏期間 4～6 日 咳・鼻水・発熱・風邪症状	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
単純ヘルペス歯肉口内炎	潜伏期は 2～7 日 ヘルペスウイルスをもつ人との接触接触でおこる。飛沫感染もあり。	よだれが止まりご飯・水分がいつも通り接種可能であって、全身状態が良いこと
伝染性膿痂疹（とびひ）	潜伏期間は、2～10 日ですが、長期の場合もあり。季節では、夏によくみられる	皮疹が乾燥しているか、湿潤部位が覆える程度であること（皮疹・かさぶたが湿潤している間は接触による感染の可能性が認められる）
頭じらみ	感染している人の頭が、別の人の頭と接触したり、感染している人の身の回りの物（寝具・帽子・タオル・ブラシなど）を共用することなどで、直接、アタマジラミが別の人の頭に移動することで感染する	治療を開始していること

※感染しやすい期間を明確に提示できない感染症については（－）としている。